

いつもありがとうございます。

W22 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・長崎県産 特別栽培 ながさき南部生産組合

長崎県産

Nourishing Vegi
ナリシング ベジ
Nourishing Vegi
～滋養のある野菜～

特別栽培
農産物

生産者：高本さんたち

ゴールドラッシュ

皮がとてもやわらかく、さわやかな甘みが特徴の美味しいとうもろこしです。鮮度が良いものは特に甘みが強いので、購入したらすぐにお召し上がりください。保存方法は茹でた後、熱いうちにラップで包み、冷めたら冷蔵庫で保管するのがおすすめです。

今年もとうもろこしがスタートしました。

未だ価格が高いので利益率は取れませんが、まずはトライしてみてください。

とうもろこしにだって、美味しい、美味しくないはあります。

美味しい物でスタートしないと、ひと夏響いてしまいます。

もちろん本番は夏の北海道ものですが、こちらは今年作戦を変えています。

今までは、どうも太いとうもろこしを狙い過ぎたようです。

結局一本単価が高い上、箱入り数も少ないので送料も割り算で1本当たりの送料負担が高いついてしまいます。

九州のスタートで、北海道の話しで恐縮ですが、とうもろこしは嗜好品のような物なので、価格よりも品質が大切で、価格だけではすべてのお客様の要望に応えられません。

今は、デパート等が休業しているので、スーパーマーケットにもお金持ち(可処分所得の多い人)が多数来店されています。

ここで、そういう顧客を満足させてガッチリつかんでおく必要があります。

何故なら、今年は収束してきましたが終息には至らず、本番は来年になります。

来年は、今年以上に Covid-19 が猛威を振るう事になりそうに思えるからです。

経済はおそらく減多減多になると思います。

その時に、どのように生き残っていくかの Vision は、しっかり持つておかなければと考えています。

可処分所得の多い顧客を一定程度固定化して行かないと、店舗の運営コストを捻出できない事になりそうなのです。

その上で、低額商品を販売して地域の貢献を求められる事になると予想しています。

つまりは、スーパーマーケットのお店はそのような地域の調整役を担う事が、生き残りの戦術になると考えています。

そのために、健康軸の展開を戦略として、先の Vision 達成に近づけたいと思っています。

この 2 月から 4 月までの間は、ウイルスが蔓延した場合、地域社会はどのようになるのかの実験だったように思います。

私たちは、互いに協力しながら感染率低下のために頑張ってきたと思います。

この教訓と経験を更に強固にして、来年までに然るべき準備体制を整える必要があると思います。

・長崎県産 特別栽培 なんぶとまと



先日、と言ってもひと月以上前ですが、

この『なんぶとまと』を弊社ターミナルで見たとたん、

『このトマトは売り場に置いてもらったら売れる』と思い、

早速、此処に記事を書くことになり、

沢山の御注文を頂けるようになり、

今沢山出荷しています。

実は最近、どこに行くにも気が引けて、会社にずっと居るので、
それならと新しいスタッフがターミナルに入社したこともあり、
久しぶりに自分で育成したいと考え、ターミナル通いをしています。

色々な商品野菜を見るにつけ、良い野菜だなあ〜と見惚れています。
自分の商品だから、自画自賛になりますが、
栽培しているのは私ではありませんので、まあ素直にそう思っています。

で、昨日見ると更に美味しそうになっていました。

考えてみれば、もう5月の後半です。

画像は、過熟の撥ね品です。

作型からすれば、昨年12月の初収穫ですから6月末頃に終了となります。

そうすると、そろそろ気が弱くなり始めて、その分とまとが頑張っ
て育ち味が濃くなるし、栄養もたっぷり乗ってくる時期です。

アルファーでは、一番単価の安いラインのトマトですが、これはお買
い得の時期に入ったと思います。

・名水にら と 特裁チンゲン菜





たかが、『にら』と『チンゲン菜』という、
いわゆる法連草や小松菜とは違うBランクの
葉物です。

ですが、弊社ではこのふたつの葉物をもうか
れこれ25年ほど、

この二人の農家の品物に取り組んでいます。
最初に取り組んだ葉物と言えば、その他に
大葉とパセリがあります。

パセリも長く遠藤さんのパセリに取り組んで来
ましたが、

今年の初めに40過ぎと言う若さで亡くなっ
てしまいました。

それから、熊本の方に代わっています。

大葉は、熊本県から始まって静岡県になって、アチコチしましたが、
今は、宮崎県の野中さんで8年ほどの取り組みになりました。

そういう意味では、何の変哲もないような気もしますが、
他の産地の同じ野菜を、見ても、食べても、やっぱりこれらの商品には敵わないなあと思いま
す。

この Covid-19 騒動は、今年が予行演習で来年が本番だとの話もありますが、もしそうだとしたら、野菜の物の見方も変わるのではないかと考えています。

『免疫力』とは、単体で存在しているのではなく、例えるなら樽や桶に貯めた水のような気がしています。

つまり、樽の一枚一枚の板の一番低い高さ、或いは低さに免疫力の高さ低さが揃うようなイメージで、

免疫力を上げようと思えば、その樽を構成する一枚一枚の板を高くするようにして、そして箍(たが)の部分に当たる栄養素もまた大事だと思います。

そのように考えると、やっぱり野菜の価値は決して価格ではなく、その健康な身体の素になる品質にあるような気がして、

来年の本番に備えることの大切さが身に染みてきました。

アルファードでは、リスク分散として出荷場を二か所に分けての運営を検討する必要を感じています。

宮崎県産特裁風土の新メイクイン



恋するマロン南瓜、畑ごぼうでお馴染みの宮崎県風土様より

昨年に続き、新メイクイン登場です。

味も満足のいく出来栄えになっていて、メイクイン特有の粘り気が強くもちりとしていて、甘みも強いメイクインとなっています。

今年でメイクインは 2 年目という風土様。

この味の再現性に自信はないそうですが

来年も美味しくできると思い、来年分もお願いしました。

栽培面積が小さく週間 100 ケースのペースで 3~4 週間ほどの取扱いとなります。
長崎県産特裁なんぶ新メイクインと合わせてご検討ください。(吉田麻衣)

福井県産吉村さんのほっこり金時

今年はおかげさまでご注文を多くいただきました。
ですが、産地植え付けの時期に入り植え付けは 6 月いっぱいまでとなります。
昨年は多少の調整をさせて頂きつつも、何とかつなげることができましたが
今年はそれも難しそうなため、大変申し訳ございませんが一時休止とさせて頂く事となりました。
再開の時期は生産者の吉村さんと検討をして発注書にて再度案内させていただきます。
(吉田麻衣)

兵庫県産養父養生にんにく金郷純白

どうとう産地在庫も底をついてしまいました。
w22 は在庫次第で終了となります。
5 月 21 日に現地で来シーズンの取り決めをしまいたします。
再開は 7 月ごろを予定していますので、1 か月程ご迷惑をおかけしますが
宜しくお願い致します。(吉田麻衣)

有限会社アルファー
吉田清一郎